

月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>



2021

6

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	7
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 5月句会	19
川柳吟行会「ぼ」	26
十和田たてがみ川柳会4月句会報	30
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	18
Infomation	33～

カンテラ

むせし

このコーナーの書き出しが新型コロナウイルスに感染したようだ。

今回もコロナで始まる。

半年後のことですが、今年の「川柳忘年会」つてやるのでしょうか。

ワクチン接種の進み具合と、コロナの変異がどうなっているかにかかっています。

やるかやらないか、私にとって東京オリンピックをどうするかというよりも難しい問題です。

でも、どこかで判断しなければならぬ。

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

A群

権のない舟で言葉を紡いでる

渡邊こあき

薄暑光ドアも時計も反抗期

葉閑女

ついでこいと言った人が逝っちゃった

村上てる

来年の話をしよう雨の花と

柳本恵子

あっけなく乗ってしまった花いかだ

まみどり

忘れ物ありませんかと花吹雪

ひとは

とりあえず鴨が実家に帰ります

鳴海賢治

音もなく春の雨ふる変異株

吉見恵子

花粉まみれのノック厳禁いたします

吉田州花

やさしいとわかるあなたもやさしいよ

ひとり静

さよならの少し手前で匂う桃

米山明日歌

うぶぶぶぶつと混ぜちゃいけないもの混ぜる

きさらぎ彼句吾

きさらぎ彼句吾さん、何を混ぜているのですか？市販の洗剤や漂白剤に「まぜるな危険」と表示されているものがありますが、「うぶぶぶぶつと」だから違いますよね。餡こと味噌でも、人間とゴリラでもないだろうし、春と雲とも違うだろうな。うー、降参！

B群

主義って何だろう 兜の下の酒池肉林

旅男

気が付くため息だけを拾ってる

夏草ふぶき

危機感の無い茶渋付き茶碗の茶

斎藤泰子

言うことは言ったはんべんトコロテン

石橋芳山

スープカレー始まりますよ無言劇

まきこ

付箋はがされてカキフライになった

宮井いずみ

会っている最中なのにぞうり虫

田久保亜蘭

曇天に挿したプラグが抜けません

芝岡かんえもん

芝岡かんえもんさん、「プラグ」を広辞苑で引くと『①

電気機械で、回路を接続し、あるいは切断するために用いる差込み器具。②点火プラグ。③硬質で浮力のあるルアーの総称。ミノーなど。』と出てきます。この句の「プラグ」って①でしょ？で、何で「曇天」なんか「プラグ」を挿すのですか。曇天発電なんて聞いたことないな…。あのね、かんえもんさん、抜けないからって空のあちこちにプラグを挿すと危険ですよ。とにかくやめた方がいいです。あれ？冴えない連中に課題を与えたらいつまで待っても回答が来ないってことだったの？（汗）

C群

本日からユリ科ネギ属多年草

守田啓子

もう少し黄色い声で行くつもり

辻井洋子

ワインクーラーから取り出す女の手

小野五郎

放置自転車の青サビの轍

奈良一艘

守田啓子さん、「ユリ科ネギ属多年草」って栽培種も野に自生するものも食用や薬用になる有用植物が多いんだってね。日本に自生しているものでは、ギョウウジャニンニク、ニラ、ノビル、アサツキなんかがそうだとか…。人間をやめてギョウウジャニンニクとかニラになるってサスガ守田啓子さんです。「人間に効く人間になる」ってとかな？ スーパーの野菜売り場にいるって話じゃないよね（汗）

辻井洋子さん、「黄色い声」って久し振りにお目にかかりました。広辞苑で「黄色」を引くと『①黄色である。「くちばしがーい」②（声が）かん高い。主に、女性や子供の声についていう。』と出てきます。この句の「黄色」は、当然②ですね。青い声や赤い声より「黄色い声」の方が若々しく女性らしくていいですよ。ずっとそれで行ってください（笑）

小野五郎さん、凄いものを「ワインクーラー」から取り出しますね。「ワインクーラー」って、バケツとかポールみたいな形をした氷を入れるやつですよ。五郎さんはあれに白ワインと「女の手」を冷やしておくのですか。

ワインはシャブリかな…。で、ほどよく冷えたシャブリをすーっと口に含んで、おもむろに「女の手」にかぶりつく。危ないイリュージョンのようですね（汗）

奈良一艘さん、バイクに乗ってる一艘さんを見たことがあるけど、自転車に乗ってもカッコイーンですか？とところで、「青サビ」って「緑青」のことで、銅や真鍮でできる錆のことですよ。鎌倉の大仏様は全面青サビ。あ、関係ないか。で、自転車…。銅とか真鍮でできた自転車ってあります？ 多分ないですよ。そこで考えたんですけど、この句の「青サビの轍」って自転車のどこかにできたものじゃなく、この自転車によって作られた「轍」ってことですよ。赤サビだと腐食がどんどん進んでポロポロになっちゃうけど「青サビ」はそこで止まる。だから、この句の「轍」は数百年は持つ。とところで一艘さん、この「放置自転車」って実はご自分のことですよ。要するに、奈良一艘氏の「功績」つまり「轍」は未永く残るってことだ。違う？ あ…。昔「青サビは毒だ」って言われてたけど、実は毒じゃなかったんですよ。あ、またまた関係ないか…（汗汗）

おかしき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅5月月間賞

逃げ道で拾った似合わない帽子

須藤しんのすけ

ひとは【ひとは・青森県黒石市】

閉経はとつくに過ぎたフライパン
雄叫びはキャットタワーの上ですか
忘れ物ありませんかと花吹雪
泣き虫は卒業したの玩具箱
エプロンが重くてぎつと膝が病む

先月号のお気に入り
草伸びて伸びて私を困らせる
草取りの季節になりましたね・・・(汗)
城後朱美

まき【まき・青森県青森市】

桜から逃れるように凜とする
スーパークレー始まりますよ無言劇
長所なの愛想笑いと雲隠れ
愚痴ひとつ言えずに月も笑い出す
ふたごころありますひとついかがでしょ

先月号のお気に入り
春風になることとしたの それだけでよ
つつけんどんな優しさ？大好きです。
齋藤泰子

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

キウイのざらつく皮に油断する
ピーマンの種はざわわと委任状
葬送はドリカムの未来予想図
付箋はがされてカキフライになった
詫び状にマスカルポーネを添えて

先月号のお気に入り
摺り足のままで夜までできてしまう
仕方ないので焼酎飲んです。
米山明日歌

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

間に合わぬワクチンで胸張らないで
男ってなぜたか外で呑みたがる
晴天は二割程です五十年
オンライン友達百人画面上
酒場放浪記昔話のように見る

先月号のお気に入り
飲み会のお誘い「LINE待ってます
「ロナがおとなくなったらいち早くLINEします。
須藤しのすけ

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

目立ってはいけない満開のさくら
花吹雪うわさ話をキャッチする
無愛想な風になりたい偏頭痛
あっけなく乗ってしまった花いかだ
葉桜になって脱皮しそびれて

先月号のお気に入り
ありふれた時間の中で溺れてる
もったいないとわかつてはいるのですが・・・
米山明日歌

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

高卒の所々に変異株
休日の尻尾に櫛を飛ばされる
フィルター越しに見てる矢印ひとつある
完投を意識している昼の月
「ん」の処遇首から下で考える

先月号のお気に入り
あかい屋あかい手紙をまっけている
このドキドキ感が認知症防止につながるのかも知れない。
米山明日歌

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

ギザギザの心を溶かす春の雨
こんな日は重荷を下ろし一休み
こんなはずじゃなかった春の巣ごもり
スタートで転けた兎の回り道
通り抜けできずに私迷子です

先月号のお気に入り
チューリップ立ち位置なんて気にしない
もう周りは気にせずマイペースで生きていきたいです。
柳本恵子

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

亡夫の待つ橋を渡っていくつもり
母に似た白髪ほめられネギ刻む
引き算の生活では生きられぬ
ついてこいと言った人が逝っちゃった
ステイホーム心はやせて身は太る

先月号のお気に入り
四十九日花を棄てられぬ母を捨てられぬ
悲しみがひしひしと伝わって来ます。実感句です。私は
母を四十二才で亡くしました。
土田雅子

守田啓子【もりたけいこ・青森県青森市】

本日からユリ科ネギ属多年草
だからって空ばかり見てどうするの
昨日切ったパイナップルのような人と
終章でトゲクリガニが茹で上がる
焼き立てのパンがどこにもないこの世

先月号のお気に入り
コークハイ飲んで青春追記する
私はバイオレットフ리즈かな？
土田雅子

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

来年の話をしよう雨の花と
鉛筆の匂い雨の匂いと同じ
中島みゆき聞き笛ゆがきつつ
五月晴れバンジージャンプの留金
ケンケンパーしながら夢を追っている

先月号のお気に入り
蝉のようにも鶴のようにも生きられず 斎藤泰子
ようにも ようにも のりフレインが心地よいです

吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

サボテンの一緒にいてもいなくても
トゲありトゲなしトゲトゲ なるほどね
たんぽぽの黄色が好きで潜っちゃう
休戦中 白く光ってランジェリー
キッチンで時間を巻き戻す イテテ

先月号のお気に入り
気づいてよレッドカードになることは 渡邊こあき
そうか…気づいてないよアタシ…努力いたします…

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

音もなく春の雨ふる変異株
欲望の蛇口はいまも半開き
月磨くやり直したき二つ三つ
木漏れ日のメンテナンスに委ねては
片栗の夜露に濡れて夢ぬれて

先月号のお気に入り

葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

はつなつの風よ今年も逢えますか
白玉を作る明日は霧曜日
肩の荷をおろしてからの長い雨季
薄暑光ドアも時計も反抗期
積ん読の森で迷子になつちまう

先月号のお気に入り
善人になりそう灰汁を抜かなくちゃ
善人でない方が面白そうだもんね。
ひとは

吉田田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

誑かす文ならうまい月見草
独活の酔の物思い出すから作らない
花粉まみれのノック厳禁いたします
ローズマリー香らせご縁なき不貞
ルートなら確保してある天花粉

先月号のお気に入り
絵の中の女が脱ぐと言っている むさし
そんな絵は買えるものなら買いますよ

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

朝の夢そばにいた人ドロロン
明け渡したロッカーに置くオフコース
金継ぎで教わる爆弾漆
喜びを隠せぬ水栽培だから
天井の隅の女神に目配せす

先月号のお気に入り
ファイティングポーズしたまま冬終わる 柳本恵子
今はそれが緩んできている頃でしょうか。

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

許せない場所に張りつくさようなら
平凡を赦してしまふ春の午後
対岸の話ばかりをする女
冷え冷えとくるものを知る紅椿
さよならの少し手前で匂う桃

先月号のお気に入り
しあわせもそろそろ次の人の番 斎藤泰子
このシステムすごくいいです。そう思っていると気が楽
ですね。

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

剪定の枝に未練を残す老い
混浴のできる椿になりました
梅の香を辿って着いた袋小路
悲喜こもごもを白和えにする木の芽とき
櫂のない舟で言葉を紡いでる

先月号の
お気に入り
月曜の薄切り誰のオーダーだ
私です。火曜はむさし教室があるので、
月曜は薄切りに
ン？。
石橋芳山

安藤なみ【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

こうもり傘は蝙蝠を恋しがる
残酷なアニメこれでもかこれでもか
蛭が痩せたカロリーオフの砂糖水
ホー、ムムム先着順の手があつた
年表でたどるたかだか二千年

先月号の
お気に入り
結んで開いて結んで開いて春がくる
懐かしい！
柳本恵子

上村夢香【うえむらゆめか・山口県岩国市】

松園の絵に逢いたくて美術館
午前三時しばしまどろむ深夜便
女子会をはるか彼方へ行つたきり
ルーキーの緊張解けるお立ち台
早二年神宮の森つば九郎

先月号の
お気に入り
過去のことみんな輝く絵空事
思わず膝ポン！！最近ほ、過去の失敗ばかり思い出して
おります・・・。
瀧尻善英

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

左足夜の街から引っこ抜く
月影が二秒遅れでついて来る
生ビール飲む時開眼してますか
気を付けをして牛乳を飲んでる
ワインクーラーから取り出す女の手

先月号の
お気に入り

石橋芳山【いしばしほうざん・島根県松江市】

結論を逃げてフラフープを回す
逆上がりできずミーティング終了
言うことは言ったはんぺんトコロテン
ほど遠いところで完熟のバナナ
唇の薄さでラッタタタ井

先月号の
お気に入り

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

歌手が好き江戸紫はもつと好き
全霊で金魚の泡に頼られる
乾杯をしようノーサイドにしよう
連れ歩く一枚板の行者橋
焼き餃子毛細血管尖らせて

先月号の
お気に入り
順番がちがうトマトの洗い方
文句無くおもしろい！視線に優しき、強かさを感じました。
宮井いずみ

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

目を開ける前に心は閉じなくちや
何観ても何を食べても満ちぬ月
叶うなら昔の生すまで膝まくら
心省かれるひとふで書きさされる
うふふふつと混ぜちゃいけないもの混ぜる

先月号の
お気に入り
神様の返歌三日三晩の雪風
きつと傲岸不遜な化学式の歌を贈ったんでしょね。
吉見恵子

熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

充電をし過ぎてないか卵とじ
見渡せば燃えないゴミもたんある
自粛中お宝さがししてみます
弟が馴染みの味を聞いてくる
家庭用りんごに添った食し方

先月号の
お気に入り
あなたとの南に雨が降りしきる
切ない映画を一本見終わった感じです
米山明日歌

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

風よ吹くな熾が目を覚ますじやないの
危機感の無い茶渋付き茶碗の茶
黙々と編む情けなさ隠しつつ
晴れている日に始末する不安感
木偶なりに笑顔で生きて敵は無い

先月号のお気に入り
さくら咲くように散るように微熱
岸井ふさる
しんと沁みます。

笹田隆志【ささただたかし・青森県青森市】

弘前城は南北戦争まつさかり
太宰死す摩帽を脱いだペルセウス
鯨幕で泣いてばかりの月美草
セルビアの理髪師の結う日本髪
送別会をジェノサイドする鍋奉行

先月号のお気に入り

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

遠雷やもつと淋しくしてあげる
一目惚れ電気の通る音がした
曇天に挿したプラグが抜けません
さよならを刻んでみれば金太郎
春爛漫タンポポだつて咲いとるわ

先月号のお気に入り
影のない嘘つきばかりいるクラブ
須藤しんのすけ
その通り！最近影がないからやっかいだ。

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

私から切った友達待っている
捨てられるのが恐くてみんな受け入れる
隅から隅まで読むはめになる柳誌
退職も仕事も過去になる夕餉
忙しくない涙が出てくるの

先月号のお気に入り
難題がショートメールでやってくる
斎藤泰子
引継ぎのメールが途切れません。困ったような嬉しいよ
うな

Sin【しん・青森県外ヶ浜町】

ファブリーズとすつたもんだして ひとり
誹謗中傷に誹謗中傷してる 首の上げ下げ
日本語が読めなくなった日本人
言葉尻ばかりを狙ってさする痴女
本性と一緒に剥き出して歩く

先月号のお気に入り
始まりの舟が透明帯突破
もりともみち
初めてのエッチで妊娠させてしまったくせに、なにカッ
コつけて言ってるねん！（あくまで想像です）

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

太陽の刺繍マリコの海 叫べ
二ヶ月に一度子猫になつかれる
第3ステージ卒業する神話
日本中民主主義者の懺悔室
4年後に変える羊水での記憶

先月号のお気に入り
感情的になるかならぬか今大事
鳴海賢治
感情が無ければいいのって思うことも、大事なのかも
知れませぬ。

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

親父ギャグでも爆笑をするゆとり
バク宙が出来て元気なオムライス
遣り遂げた老母を拾った骨密度
好奇心持つてる生きがい持っている
羊水の海でシヨパンのノクターン

先月号のお気に入り
しあわせもそろそろ次の人の番
斎藤素子
幸せの独り占めはダメですか？。閲覧板のようにやって
来るのもいいかも。

田久保亜蘭【たくぼあらん・秋田県五城目町】

校則は膝上からの反逆者
オアシスが渴れて龍馬の出っぱなし
象さんが転んだ頃の正常位
漂白をするので夜を空けておく
会っている最中なのにぞうり虫

先月号のお気に入り

旅男【たびお・青森県五所川原市】

爺の自問時々刻々の私事の時事
主義って何だろう 兜の下の酒池肉林
共産主義の壁紙 民主主義のペンキ
ワタクシの無いヘイタイの導火線
自由のパンツ頭に被つちやダメでしょう

先月号のお気に入り
人生を馬鹿にするのか買取り値 村井規子
んだっ。ほんまや。まっこと。コケにするな。千円と言
われて、売るもんか嫁入り筆筒焚きつけにする

田中薫【たなかかおる・青森県弘前市】

引きずつてきた赤い線と組合わせ
すまなんだ「異常なし」○△×
微分積分タンジェントゴミと化す
ねえ平和への横流ししてませんか
怖くないくちづけをしていいんだよ

先月号のお気に入り
青空が破れちまって紙吹雪 芝岡かんえもん
カッコイイです>>>

奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

リカちゃん死んだボクだけ残った
酔・いどれてサクラ 病・だれてさくら
さくら散る時間だソーシャルディスタンス
放置自転車の青サビの轍
ここからは円錐形の先の方

先月号のお気に入り
人間の煮詰まるような音がした 芝岡かんえもん
どんな音だった？

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

停止線超えた 銀河の匂いする
通販届く一丁目一番地
ヒトラーを観たあと昭和歌謡曲
とりあえず鴨が実家に帰ります
簡単に貧乏だったこと言える

先月号のお気に入り
気がつけばオトナ 少年が睨んでる S i n
少年に含みをもたせておもしろい。

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

アラジンのランプで黄砂ネオンめく
春爛漫袋小路は怖くない
あれこれそれもぐら叩きが忙しい
コーヒーの香り肩の力が抜けていく
もう少し黄色い声で行くつもり

先月号のお気に入り
又ねって手を振るクロコグダイルバック 渡邊こあき
適当なバック探してます、いいなと思うのは高くて手が
出ない、又ね、です。

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

病む人を見て病んでいく私
薄皮を剥がし痛点確かめる
気が付くため息だけを拾つてる
当たり前すぎて呼吸ができません
待っている私を風がすり抜ける

先月号のお気に入り
ありふれた時間の中で溺れてる 米山明日歌
ありふれた事柄にお手上げにあることあるんです。

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山形市】

三月の耳を齧っているふたり
やさしいとわかるあなたもやさしいよ
表面張力世界はみんな思い込み
あとおおと慰められているパセリ
空に溶ける鯨が負けた日の海は

先月号のお気に入り
「コンビニへ急ぐ、フィクションかもしれぬ まきこ
急いで走っている時は、脳って四方八方に働きすぎる。

むむし【むさし・青森県蓬田村】

春はあけぼの運命線の蛇行癩
右肩の暴風域がはしやぎ出す
マスクしたコロナウイルスとすれ違う
クラスターをダブルクリックしてしまう
風神雷神おつと蕎麦湯がありません

先月号のお気に入り

深艘心理

肛門をいたわった事がなかったわ 田中 薫

(会員雑詠集無人駅4月号)

いきなりの、こ、肛門：ですか(汗)
「触光」主宰の野沢省悟の句に

青春のこれがいちじくかんちようで
菜の花の菜の花でないくりとりす

女人ひとり全身ほとにして仏

という作品がある。青春、かんちよう、菜の花、くりとりす、仏、ほと等と、省悟は人間の生理的機能と向き合う作品をしばしば詠んでいる。俗性と自然や宗教性との落差を敢えて描くことにより、生き様や人間観をみすえた川柳を表現しようとしているのだろう。

そう言った意味では、おかじようき代表のむさしやS in、恥ずかしながら小生も「恥毛」や「尻の穴」など下半身の部位を扱った作品が少なからずある。

で、掲句だが、決して肛門科での痔疾受診の結果を嘆いている…、というような単純でバツチい句なのではない。句意の奥底をきちんと妄想してやるこそが「深艘心理」

としての役目なのだ。うむ。

肛門とは、消化管の出口のこと。解剖学的には直腸の体外への開口部。肛門括約筋によって制御される。とウイキペディアには記載されている。

掲句の肛門とは比喩であり、基本的な人間としての思惟を排出する制御弁のようなもの。つまり、今まではそんなに気にもせず何気なく発していた言葉や意思が、他人を傷つけていて、それが思わぬ形で作者自身に返ってきた時の嘆きと自戒のつぶやきが「いたわった事がなかったわ」に読み取れるのだ。

ジェンダーレスが叫ばれている現代ではあるが、女性が下半身、それもあえて肛門を比喩として扱った冒険と挑戦の姿勢に「深艘心理」としては拍手を惜しまない。こういった下半身を扱った句は破礼句として読者の評価は分かれるかもしれないが、な～に、気にすることは無い。作者の限らない可能性に大いに期待をすることが出来る。

スチボーボードING

5月1日(土) 午後1時～ アウガ5F小会議室

▼出席者(9名)

守田啓子・葉閑女・小野五郎・渡邊こあき・熊谷冬鼓・奈良一艘・むさし・笹田隆志・夏草ふぶき

▼投句者(22名)

岩根彰子・宮井いずみ・芝岡かんえもん・柳本恵子・米山明日歌・安藤なみ・吉田吹喜・まきこ・三浦蒼鬼・須藤しんのすけ・村上あつこ・上村夢香・郷田みや・斎藤泰子・田久保亜蘭・坂本清乃・土田雅子・旅男・まみどり・田中薫・城後朱美・岸井ふさゑ

おかじようき川柳社 5月例会句会

席題『みどり』

青森県青森市 守田啓子選

【佳作】

若葉には若葉のみどり骨密度 熊谷冬鼓

新緑がポツポツ嘘を芽吹かせる 夏草ふぶき

空だけが友だちなのとミドリガメ 夏草ふぶき

新緑の候日向水ができました 小野五郎

水草に足を取られるミズスマシ 夏草ふぶき

ゲルニカに噛みついていた緑亀 むさし

べつたりと指紋のついたみどりです 熊谷冬鼓
スメタナがこよなく愛した深緑 小野五郎

【秀逸】

レタス裂く はちのむさしは死んだはず 奈良一艘

まつ茶塩振って理性をとり戻す 渡邊こあき

合言葉は緑さくら野裏口で 葉 閑女

【特選】

くらし方モスグリーンにかえました 渡邊こあき

『この先は肩の力を抜いて!!モスグリー
ンが効いてます。』

席題『みどり』

青森県青森市 葉 閑女選

【佳作】

べつたりと指紋のついたみどりです 熊谷冬鼓

新緑がポツポツ嘘を芽吹かせる 夏草ふぶき

加重逃走容疑者の手に生えているワカメ むさし

双葉から本葉羽化が始まるよ 熊谷冬鼓

新緑の鳶沼もう引き返せない 渡邊こあき

新茶飲んだか自分を好きになったか 守田啓子

レタス裂く はちのむさしは死んだはず 奈良一艘
ゲルニカに噛みついていた緑亀 むさし

【秀逸】

コロナコロナ小池百合子を蒼く塗れ むさし

スメタナがこよなく愛した深緑 小野五郎

まつ茶塩振って理性をとり戻す 渡邊こあき

【特選】

ワクチンを打つ新緑になるための 守田啓子

『コロナの闇を抜けてみんな新緑にな
りましよう。』

宿題『沼』

青森県青森市

熊谷冬鼓選

【佳作】

亡義母さま魚沼産のご飯です
 電源が入っていない地獄沼
 沼一枚わたしの龍を眠らせる
 いやな沼思い出し笑いなんかして
 もがきながら底なし沼に落ちて朝
 むず痒い指輪を放り込む沼
 コロナコロナ背中の沼が動かない
 改革は田沼意次のラップ
 沼ですから笑う時はにらにらと
 泥沼に落ちて初めて罌と知る
 ため息を浮かべる沼の素の部分
 煮詰まって最後は沼になる言葉
 株価ばかり気にして・・・沼らしくないね
 ウーバーで底なし沼を取り寄せる
 ため息のひとつは君をさらう沼

岩根彰子
 小野五郎
 斎藤泰子
 宮井いずみ
 村上あつこ
 柳本恵子
 むさし
 笹田隆志
 吉田吹喜
 村上あつこ
 須藤しのすけ
 米山明日歌
 守田啓子
 土田雅子
 まみどり

WGO会議なかなか沼に入れない

ゴリ押しをなじめば沼になる男

いっしょけんめい沼を埋めてる母だった

私の沼には生贄がひとり

暗黙の了解 沼さらいはしない

【五客】

あまり静かなので斧を放り込む

底なし沼の底踏んづけたことがある

底なし沼に入る途中でございます

スマホから底なし沼が立ち上がる

忘れた頃にやって来て沼を掻き回す

【人位】

おとなしい沼に油断をしてしまう

【地位】

枯渇した沼です気に入っています

【天位】

沼でいいちゃんと大空映るから

『マイナスイメージの沼を前向きにとらえたのがいい。』

郷田みや

葉 閑女

芝岡かんえもん

宮井いずみ

旅 男

柳本恵子

三浦蒼鬼

芝岡かんえもん

むさし

旅 男

安藤なみ

土田雅子

葉 閑女

宿題『ぬるい』

青森県青森市

笹田隆志選

【佳作】

ののかちゃん見て一日を終わらせる
 なまぬるい男を見限って 五月
 職質が終わればただのお方です
 ゆるキャラ的温水さん 現 救世主
 愛された記憶を知っている足湯
 ワルサーD38ぬるい家へとやってきた
 人肌に甘えてバナナの皮を剥く
 あたし造花なんです 爛は温めで
 それはもうなんとも言えぬぬるいジャズ
 形見だと思いつ込んで六角レンチ
 のど仏糖質ゼロのサクラムみる
 ぬるま湯で顔を洗ったのつべらぼう
 ぬるくてもチョコビチョコビと飲む苦い水
 ぬるくても仕舞風呂でも入る妻
 置去りにされた味噌汁すすってる

守田啓子
 葉 閑女
 まみどり
 田中 薫
 まみどり
 芝岡かんえもん
 奈良一艘
 吉田吹喜
 岸井ふさる
 須藤しのすけ
 坂本清乃
 むさし
 吉田吹喜
 田久保亜蘭
 熊谷冬鼓

湯煎してあげます回りくどい舌

あきらめてぬるい死に方いたしましょう

笑われる前に笑ってしまおう癖

ごま塩にならはった日向にならはった

ハニカム構造のぬるい自己主張

【五客】

ぬるま湯につかりウフフはまだ続く

人ひとり殺して平熱のまま

中途半端コロナ禍変異体 ザ・日本

ぬるい舌おたまじゃくしを引き受ける

鯖缶は有罪シーチキンなら無罪

【人位】

生ぬるい男で背ビレを立てている

【地位】

なあむ南無ぬるく生きると春の寺

【天位】

胃液逆流春の取っ手ももげたがる

『春の取っ手がつともいいです。しかし、胃液逆流とはたまげた。』

岩根彰子

柳本恵子

米山明日歌

岩根彰子

岸井ふさる

まきこ

夏草ふぶき

田中 薫

安藤なみ

奈良一艘

むさし

柳本恵子

むさし

宿題『自由詠』

青森県蓬田村 むさし選

【佳作】

「言わなくたってわかるだろう」という神話
 家系図を食み出している粒餡こ
 下戸もまた楽しからずや五月晴
 通り雨みたいなのが丁度いい
 難しいパズルだね 終活ってサ
 影瘦せる体は肥えてきてるのに
 若作りの0番線という媚薬
 君の座つたそこが一番柔らかい
 奥の手を入れた戸棚が渋くなる
 帰ろ帰ろサバのみそ煮が待っている
 化物の匂い出してる春霞
 一食分作る幸せ噛みしめる
 幸せな母です間に合わぬトイレ
 帰巢本能で鬼にもどつてゆく
 シーラカンスになつてゆく髭だ

三浦蒼鬼
 岩根彰子
 葉 閑女
 まみどり
 吉田吹喜
 米山明日歌
 葉 閑女
 芝岡かんえもん
 夏草ふぶき
 渡邊こあき
 小野五郎
 城後朱美
 城後朱美
 柳本恵子
 奈良一艘

日の丸のズンドコ節が止まらない
 ミヤンマーの冷蔵庫が故障中
 夕焼けがワタシの身元引受人
 大腸のあたりで過去になりました

奈良一艘
 小野五郎
 奈良一艘
 三浦蒼鬼

【五客】
 燃えるかもしれぬ言葉を束ねてる
 捨て印を押してから花冷えの街
 青空の音色戦闘機のお尻、
 うまれてみたがわけがわからん春キャベツ
 さくらはらはらこれからなんてうっせえわ

米山明日歌
 小野五郎
 須藤しんのすけ
 芝岡かんえもん
 まきこ

【人位】
 チューリップ揺れて否定ばかりする

柳本恵子

【地位】
 ブラックホールから老人が転げ出る

三浦蒼鬼

【天位】
 スケボーで回る男の頭蓋骨

岩根彰子

♯スケボーを乗り回す男の頭蓋骨じゃなく、男の頭蓋骨をスケボーで回ってるんだよね(汗)



おかじょうき川柳社：誌上句会

0番線

課題と選者 (2句詠・共選)

題：『一』

7/31 〆切

選者

榊 陽子 (兵庫県)

奈良一艘 (青森県)

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

http://okajoki.com/toku/0line.htmlへアクセスし、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。



【メールで直接送信する場合】

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、件名に「0番線」として、**守田啓子宛**にメール送信してください。<送信先アドレス：**moriko@okajoki.com**>

投句料 (※おかじょうき川柳社会員は無料です。)

1,000円 (発表誌呈) *発表誌の送付をもって、投句料受領したものとさせていただきます。

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

川柳吟行会「ぽ」

課題『花』

今回の投句者は20名、集まったのは60句である。合評会は4月21日（水）14時30分より青森駅前アウガ5階で行われた。参加者は8名。今回から各々一人吟行して作るようになっていた。

課題が「花」とあつてまさに百花園のような作品群を目の前にして、作品の意図するところ、作品の背景、表現の方法、語句の解釈などをめぐりフリートークとなった。

しかし楽しい時間はあつと言う間に過ぎ、16時30分名残り惜しいが解散となった。（五郎）

【8点】特×2・佳×4

アサツキの群生トリチウムは海へ 守田啓子

【かなえ】アサツキとトリチウムの取り合わせがいい。社会詠として訴える力がある。「アサツキの群生」に癖

落ちには反対ですが。【五郎】時事ネタをタイミングよく大胆に切り取った。

花曇り時代小説まだ序盤

柳本恵子

【夢香】コロナ禍で在宅。読書をする人が増えているという。時代小説に浸るといのは至福のひとつですね。【こあき】周五郎か周平か。久々時代小説が読みたくなりました。時代小説に花曇り、あいますね。序盤がいい。【州花】若い頃は時代小説が嫌いだったのだが。【冬鼓】晴れた日の読書三昧は気が引ける。花曇りに時代小説なのがいい。

【5点】特×2・佳×1

夜明け前花の呼吸で刺すとどめ 笹田かなえ

【旅男】「花」の吟行との関りは置いといて、とどめに刺されました。ちよつと妖しく、よくわからないところが良かった。刺すんだから自分が花と思っっているんでしょうか？【しんのすけ】とどめは静かにしつかりと、痕跡を残さずに刺さなければならぬ。花の呼吸に柔らかく優しい残酷さを感じる。【美映】ゆっくりしぼんでゆくように、という感じでしょうか。

のある匂いが立ち上ってきて圧倒された。【隆志】トリチウムを含む汚染水を海水へ放流を決定する政府の姿勢に抗議する時事吟がうまく表現されています。【いずみ】東北の春を告げるアサツキ。そんな嬉しい季節にトリチウムを海に流すというニュース【文音】アサツキの群生を海岸で見たことがある。トリチウムの風評被害がないことを願う時事吟とりました。【さち】青々と揺れるアサツキと海が重なって見えるようだ。【ふぶき】アサツキとトリチウムの取り合わせが面白い。

【6点】特×2・佳×2

駆け落ちという手もあるよ姫辛夷 滋野さち

【規子】生きて添えるならまだ幸せ。それが許されない場合がある。この句を詠みながら頭の中で、風の盆恋歌が流れた。【ふぶき】駆け落ちという重いテーマが軽い言い方で救われている。【啓子】眞子様お幸せに。駆け

花びらは奇数 スキからはじめます 柳本恵子

【五郎】花占いを面白く仕立てている。ユーモアが溢れる。【美映】予定調和って大切な要素ですよ。【こあき】数えてから占うのですね。かわいい句。

【5点】特×1・佳×3

捨て猫はミモザの家にもらわれて 宮井いずみ

【州花】ミモザが植えてあるだけで住民の素敵さと優しさを感じてしまう。【吉見恵子】「ミモザの家」で、貰われてゆく猫の幸運を表現している。暖かそうな家で良かった。【かなえ】ミモザが手柄。「もらわれて」を「捨てられて」ではどうだろうか。【冬鼓】ミモザがおしゃれ。私も捨て猫ならミモザの家にもらわれたい。

【4点】特×1・佳×2

咲けるだけ咲け改葬の日のさくら 守田啓子

【冬鼓】改葬せざるを得ない状況。故人への強い思いを咲けるだけ咲けと桜に託して見事。【しんのすけ】どんなに華やかでも別れは寂しいものである。【柳本恵子】さくらのもっている明るく広がる感じと改葬の対比が胸を打ちました。

【3点】特×1・佳×1

点描で写す桜のズルいとこ

須藤しんのすけ

【啓子】桜のズルいとこって?!付度、裏表などがあるとは思えませんが。とにかく意表を突きました。【柳本恵子】桜って美しすぎると思うことがあります。

蒲公英と膝付き合わせ立ち話

岩根彰子

【紫の園】たんぽぽと目線を同じにして、話しかけて会話をしている姿が目につかぶ。どんな話を交わしているのでしょうか、印象的な一句。【夢香】立ち話も少し離れて・・・。

娑羅植えた私の死後も咲くように

吉田州花

【柳本恵子】残された人のために植えた花木。娑羅の白い花が咲く場面が浮かびました。【規子】句を詠んだ瞬間樹木葬が浮かんだ。私の時は春なら桜、秋なら秋桜を植えて欲しい。

ミャンマーの続く弾圧花曇り

吉見恵子

【さち】無抵抗の民衆や子どもまで殺害されている。弾

到来を告げるユニークな花が咲けば何をおいても逢いに行きたくなる。

【2点】佳×2

過去を消すソメイヨシノの恨めしさ 笹田隆志

【旅男】何たつてさくら。咲いて誤魔化し、散って畳み込む、もう仕方ない。忘れよう。【ふぶき】北国の春の力を感じ、恨めしさには照れがあつておもしろかった。

ひまわりのような顔して友が逝く 夏草ふぶき

【紫の園】ひまわりのような明るい友が逝った、そのアンバランスにより哀しみを増長させると同時に、安堵の気持ち織り交ざっていることまでが伝わってくる。【彰子】読み手に想像をさせる作品、イメージを喚起させられる。

足りないものを補い合つて夕桜

笹田かなえ

【旅男】うば桜よりきれいです。二人羽織の花見かな。【啓子】こんな余生に憧れますが果たして・・・

庄という強い言葉をぐつと押さえて花曇りの表現が秀逸。【彰子】力強い作品。しつかり口を開けて読み上げた。

運命の花はだんだん造花めく

旅男

【彰子】題詠花で造花とききましたか。一語たりとも無駄がなく、生き生きとことばが働いています。【こあき】もしかしたら運命の花ではなかったのかも。

【2点】特×1

猫は寝て忌中の家のネコヤナギ

旅男

【文音】喪に服す家の静寂さが伝わってきます。猫、ネコヤナギの息づかいが家を守っているようです。

刻む皺こぼれるような笑みの花

上村夢香

【吉見恵子】人生の荒波を経てきた人の零れるような笑顔を花に例えている。皺は人生を彩る美しいものと捉え、柔らかに詠んでいる。包み込むような優しい句である。

突つ切つて逢いに行きます座禅草

岩根彰子

【いずみ】周りの雪を自分で溶かして咲く坐禅草。春の

性別にこだわらないけどヤエザクラ

小野五郎

【州花】けど長男が旦那さんを連れてきたら。【いずみ】男女不平等の根強く残る日本だけど八重桜の美しいこと。

ひまわり畑の迷い人から来たメール

滋野さち

【規子】メールの受取人と差出人は、この後運命の人になつて欲しい。【美映】その人はお家に帰れたでしょうか？

【1点】佳×1

午前2時木霊のように桜散る

滋野さち

ニリンソウ纏っているのは露か血か

小野五郎

花びらが飛び出す口を持っています

夏草ふぶき

花の下イブプロフェンが効きません

笹田かなえ

ハッピーか問えばうなずくチューリップ

柳本恵子

散華する七つボタンのまぼろしか

木村美映

キャバクラでめくる植物大図鑑

須藤しんのすけ

雪折れのアジサイ町会からのマスク

渡邊こあき

1区2部口種5号敷き詰める辛夷

守田啓子

言いかけて何でもない君子蘭

熊谷冬鼓

十和田たてがみ川柳会四月句会

【参加者】漆館ミノリ・木村奈生美・久保あざみ・

斉藤蛙井・佐藤まさあき・瀧尻善英・中村英三・福

田芳記・村上昌子・高田幸柳

【投句者】磯島雅男・城後朱美

■席題『料理』

斉藤 蛙井 選

【平抜き】

菓ごもりのテイクアウトに舌鼓
料理には小言厳禁夫婦仲
仲人が誉めた割には料理下手
コロナ禍の野外料理に腕を上げ
履歴書に料理上手を書き加え
クッキング重ねて板についた嫁
鍋悲鳴あげたね居間にいい匂い
日に三度食事の支度地獄です
料亭の枯山水も味のうち
愛犬は文句も言わず食べるのに

高田 幸柳
福田 芳記
佐藤まさあき
高田 幸柳
高田 幸柳
木村奈生美
村上 昌子
久保あざみ
瀧尻 善英
久保あざみ

手料理の昭和を生きた祖母の味
漱石や鴎外がいる洋食屋
ふきのとう春の画材とてんぷらに

包丁のリズムに妻の優しい目

【秀逸】

路地裏に一見さんの美味い店

盛り付けの料理に本音添える妻

【特選】

手料理で今の夫を釣りました

木村奈生美
瀧尻 善英
漆館ミノリ
佐藤まさあき
瀧尻 善英
木村奈生美
佐藤まさあき

■席題『料理』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

クッキング重ねて板についた嫁
子や孫がドンと来いだよ料理する
包丁は女房任せで褒めるだけ
茶碗蒸し作ると夫笑顔です
日に三度食事の支度地獄です
コロナ禍の野外料理に腕を上げ
菓ごもりのテイクアウトに舌鼓

木村奈生美
村上 昌子
斉藤 蛙井
久保あざみ
久保あざみ
高田 幸柳
高田 幸柳
高田 幸柳

盛り付けの料理に本音添える妻
ふきのとう春の画材とてんぷらに

手料理の昭和を生きた祖母の味

仲人が誉めた割には料理下手

【秀逸】

手料理で今の夫を釣りました
履歴書に料理上手を書き加え

【特選】

包丁のリズムに妻の優しい目

木村奈生美
漆館ミノリ
木村奈生美
佐藤まさあき
佐藤まさあき
高田 幸柳
高田 幸柳
佐藤まさあき

■宿題『旅行』

高田 幸柳 選

【平抜き】

ハブニング旅後のきずな語り草
憧れのバリやアフリカビデオ旅
ひっそりとコロナを避けてプチ旅行
まずお風呂次に宴会しめお風呂
デパ地下で弁当買って旅気分
格安の料金超えるみやげ代
カラフルなスタンプ押して旅日記

漆館ミノリ
村上 昌子
城後 朱美
福田 芳記
久保あざみ
福田 芳記
磯島 雅男

木村奈生美
瀧尻 善英
漆館ミノリ
佐藤まさあき

漆館ミノリ

佐藤まさあき

瀧尻 善英

木村奈生美

木村奈生美

佐藤まさあき

佐藤まさあき

押入れのバッグのしるし国別に
鯉のぼり曇天を割り旅してる
家事雑事抜けて気楽な主婦旅行
恋一つホームに残しふるさとへ
青空も神も詰め込む旅鞆
旅行する予定の街に出たコロナ
心身を洗って帰るフルムーン

弥次・喜多になって双六ひと休み

旅先で亡妻にも買った夫婦箸

【秀逸】

セレブ旅帰った後の鮭茶漬け

セレブ旅帰った後の鮭茶漬け

【特選】

セレブ旅帰った後の鮭茶漬け

中村 英三
斉藤 蛙井
木村奈生美
斉藤 蛙井
木村奈生美
瀧尻 善英
木村奈生美
佐藤まさあき

■宿題『良心』

木村奈生美 選

【平抜き】

お役人良心無視の食事会
良心を忘れて採める遺産分け
許さじと良心の自負ふところに
良心の呵責に月も眠れない

村上 昌子
瀧尻 善英
斉藤 蛙井
城後 朱美

■会費拝受【4月受付分】

大内せつ子・吉松澄子(以上愛媛県) / 岸井ふさゑ(大阪府) / 中川喜代子(愛知県) / 夏草ふぶぎ(青森市) / 瀧尻善英(八戸市) / 村上昌子(和田市) / Sin(外ヶ浜町)

■おかげょうき川柳社会員募集中!

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名:おかげょうき川柳社
→会費:6,000円(1年分)

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759
〒039-3502 青森市久栗坂浜田 87-2

●投句全般についてはこちらへ●

守田啓子 moriko@okajoki.com

終着駅 Sin

◆このコーナーで何書こうかなと悩んでいたら、「星野源と新垣結衣が結婚!」がネットニュースに飛び込んできた。それはもう、なにか社会の地鳴りのようなものすら感じるほどであった◆で、この二人が共演したテレビドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」は、2016年当時、社会現象を起こすほどの作品で、中でも、ドラマの最後に流れる主題歌と「逃げ恥ダンス」は、日本全国で踊られまくったものである◆ドラマをご覧になった方はご存知かもしれないが、このタイトル「逃げるは恥だが役に立つ」というのは、ハンガリーの諺なのだそうだ。「問題と向き合わず逃げることは普通に考えると恥ずかしいことだが、逆にそれが最善の解決策になることがある」という意味らしい。んー、挑み続ける人にとっては名言なのかもしれないが、逃げ

続けてる人にとっては最悪の諺になる可能性もあると思うのだが(笑)ま、それだけ、昔のハンガリー人は「逃げを選ぶなら死を選ぶ」といった武士道のような社会性だったのかもしれない◆そんな流れで世界の諺をググってみたら、なんか川柳のような面白い諺があったので、いくつか◆「誰かをその人のスイカからひっぱり出す(ルーマニア)」、「あなたは、私のオレンジの片割れ(スペイン)」、「唐辛子をかぶったカラス(タイ)」、「私がいなくて私が結婚していた(ロシア)」、「ズボンのような上着(ドイツ)」、「お尻の穴でカボチャの種を割る(韓国)」などなど◆なんて、自分の言葉の使い方が普通なんだろうと、少し嫉妬さえるくらいの表現が世界にはあった。そうだ、今度、ことわざっぽい川柳をテーマに作ってみよう(笑) ◆Sin

『アウガ川柳教室』のお知らせ

【場所】青森駅前「アウガ」5階

【日時】毎月2回 第2・4水曜日13時~14時半

【講師】おかげょうき川柳社 代表 むさし

【受講料】1回 500円

●6/13『椅子』 ●6/27『虫』 ●7/11『事故』

●7/25『叩く』 ●8/8『果物』 ●8/22 眠る

●投句先:〒030-1212 青森県東津軽郡蓬田村阿弥陀川字汐干 43-3
むさし宛/TEL.0174-27-2008 / E-mail: hmusashi@r66.7-dj.com

A screenshot of a blog post from 'アウガ川柳教室'. The post title is 'アウガ川柳教室' and the author is 'むさし'. The content includes a list of topics for the next session: '椅子', '虫', '事故', '叩く', '果物', and '眠る'. There is a QR code on the right side of the screenshot. Below the QR code is a photo of a man wearing a hat and glasses, holding a book. The background of the blog post features a stylized illustration of a landscape with a tree and a path.

「チャレンジ川柳! むさし流!」のブログはこちらから



おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2021.06.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句 (8月号分)

【締切】6月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】8/10発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2021.07.03 おかじょうき川柳社本社7月句会

【時】7月3日(土)午後1時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】7月2日(金)15時【宿題】(各題3句詠)『野』/『のぼる』/『自由詠』選者は当日の参加者より選出【席題】1題3句詠・2人共選【川柳ラボ】互選句「オノマトペを使った句」1句【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/>【メールで直接送信投句】moriko@okajoki.com (守田啓子) ■投句、句会参加はおかじょうき川柳社会員のみとし、句会参加の際は新型コロナ感染対策に協力願います。

□ 2021.07.14 「川柳吟行会 ぼ」7月句会

【投句締切】7月14日(第2水曜日)【題・投句数】「星」3句【投句先】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。選評等は後日月刊おかじょうきに掲載。メール交換できる方なら会員以外でも参加可。

□ 2021.07.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句 (9月号分)

【締切】7月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】9/10発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2021.08.07 おかじょうき川柳社本社8月句会

【時】8月7日(土)午後1時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】8月6日(金)15時【宿題】(各題3句詠)『波』/『走る』/『自由詠』選者は当日の参加者より選出【席題】1題3句詠・2人共選【川柳ラボ】互選句「記号を使った句」1句【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/>【メールで直接送信投句】moriko@okajoki.com (守田啓子) ■投句、句会参加はおかじょうき川柳社会員のみとし、句会参加の際は新型コロナ感染対策に協力願います。

